



広報

常陸大宮

2016

2

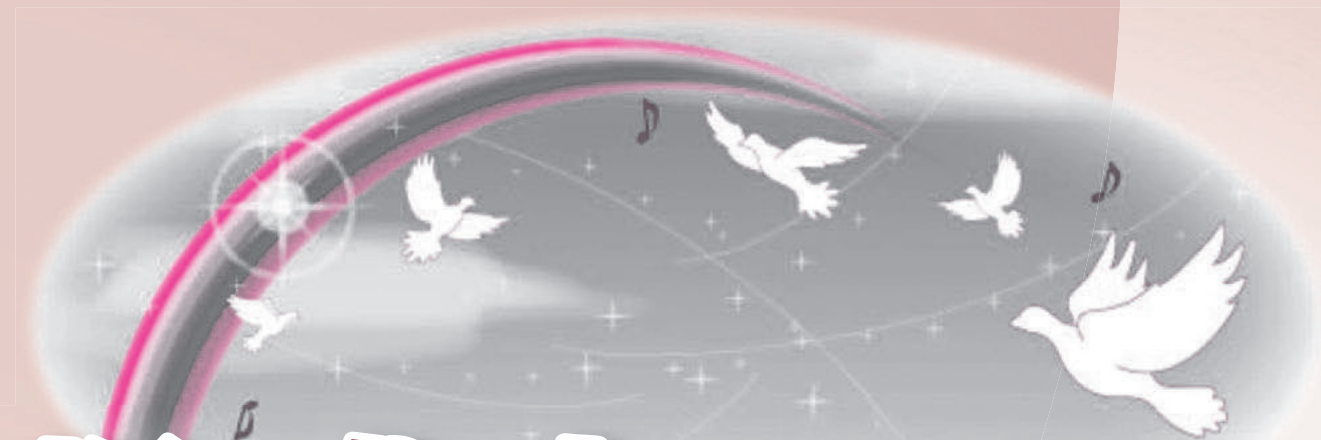
No.137



第11回常陸大宮駅伝大会
声援を送る中学生たち

主な内容

P2～3	常陸大宮市成人式
P4～5	簡易水道事業と上水道事業が統合
P6～8	叙勲・褒章を受章された方々
P9～16	まちのできごと
P12～13	重点「道の駅」に選ばれました



祝 成人

平成28年常陸大宮市成人式対象者
453人（男245人、女208人）

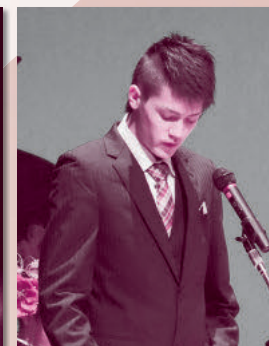


穏やかな冬晴れの中、1月10日、市文化センターで成人式が開催され、艶やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人347人が出席しました。式典は、成人式実行委員会委員の富田夏奈さん、坏匠水さんの司会で進められ、記念品贈呈、三次市長と藤来委員長の主催者あいさつに続き、来賓の方々からお祝いや激励の言葉が贈られました。そして國松美里さん、岡崎蓮太郎さんによる「はたちの主張」で、周囲の方たちへの感謝の気持ちと今後の

抱負が述べられました。また式典終了後のアトラクションとして、新成人で大宮中学校出身の自見彩さんによるミニライブが行われました。ふるさとでのライブということで、門出を迎えられた感謝と決意をのせた歌声に、同級生たちも聞き入っていました。成人を迎えたこの日の喜びと感謝をいつまでも忘れず、夢や希望を持って社会の中を力強く歩んでいくことを期待しています。



▲司会の富田夏奈さん(左)と
坏匠水さん(右)



▲開式のことば
葛西千寿さん



▲成人者を代表して記念品を受け取った
岸祐弥さん



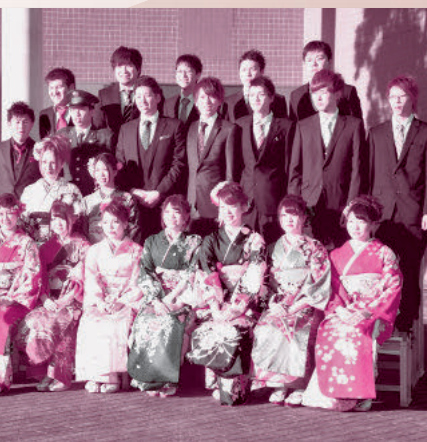
▲小泉朝紀子さんの伴奏で国歌斉唱



▲委員長あいさつ
藤来美樹さん



▲「はたちの主張」を発表した
岡崎蓮太郎さん(左)と國松美里さん(右)



実行委員会が頑張りました！

各中学校から選出された30人の実行委員の皆さんが、仕事や学業の合間をぬって会議を開催し、成人式の企画・運営を行いました。



▲自見彩さんのミニライブ。同級生の歌声に聞き入っています。



高校生会も協力

高校生会の会員も、先輩たちの門出の日のため、準備や受付などで協力しました。



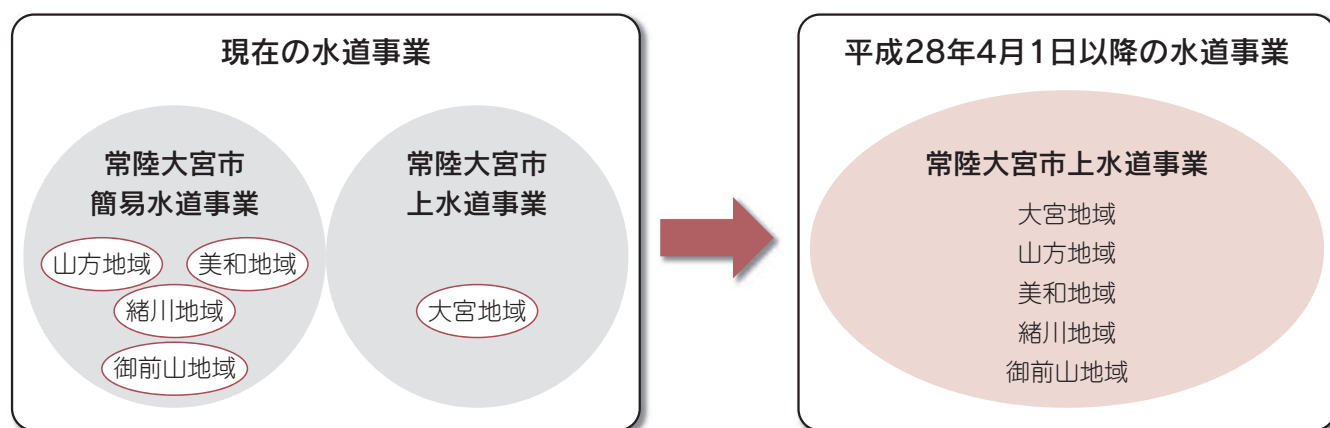
簡易水道事業と上水道事業が統合

○簡易水道事業が上水道事業に統合します

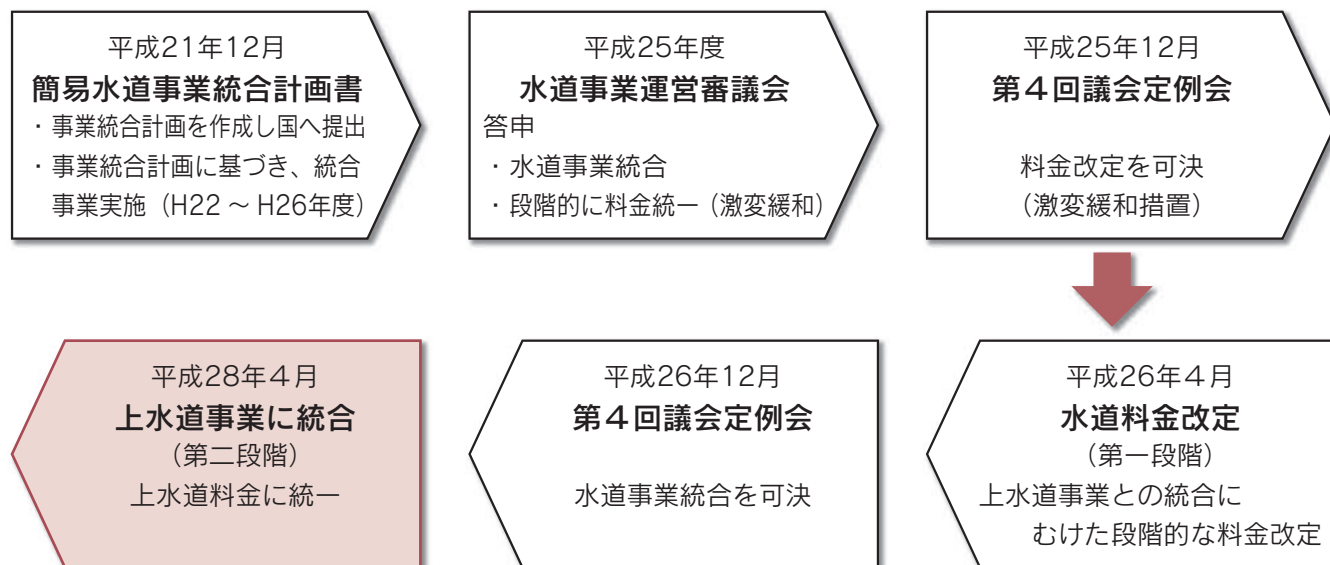
現在本市の事業は、大宮地域を上水道事業、山方・美和・緒川・御前山地域を簡易水道事業とする二つの事業で運営をしています。

簡易水道事業は、経営基盤が脆弱なことから、効率的な経営体制の確立を図ることが課題となっていました。そこで、「安心・安全な水の安定した供給」を目的として、財政基盤の強化を図るために上水道事業との統合を決定し、平成22年度から国の補助を受けて、統合にむけた簡易水道施設等の整備や管理体制の強化を進めてきました。

これにより、平成28年4月から簡易水道事業が上水道事業に統合します。



○事業統合の経緯



○料金統一の必要性

簡易水道事業は、国などの支援があったために低い料金水準で運営してきましたが、上水道事業は、独立採算を原則とした企業会計制度により運営しています。企業会計では、水道施設の整備や、古くなった水道管の交換費用を、水道料金等で回収していくことになります。施設は昭和40年代から集中的に整備したため、更新の必要な施設が多くなっていて、今後も多額の費用が必要となることが見込まれています。

このような状況から、市民負担の公平性と水道事業の安定した経営を持続するため、料金の統一が必要となりました。

○統合後の料金体系

水道料金及び加入金は、山方・美和・緒川・御前山地域も上水道事業の料金体系になり、下記の表のとおり変わります。

なお、下水道料金の改定はありません。

*簡易水道料金 《平成28年5月請求分まで》

(10円未満切り捨て)

基本料金 (10m ³ まで)	+	超過料金 (1 m ³ につき)	+	消費税 8%
1,760円		185円		



▲老朽管の更新工事



*上水道料金 《平成28年6月請求分から》

(10円未満切り捨て)

基本料金 (10m ³ まで)	+	量水器使用料		+	超過料金 (1 m ³ につき)	+	消費税 8%
		量水器口径	使用料				
1,810円		13mm	100円		11m ³ ~50m ³	200円	
		20mm	200円		51m ³ ~		
		25mm	210円				
		30mm	340円				
		40mm	400円				
		50mm	2,000円				
		75mm	2,600円				

*簡易水道事業分担金 (税込)

《平成28年3月31日まで》

量水器口径	分 担 金
13mm	108,000円
20mm	162,000円
25mm	324,000円
30mm	540,000円
40mm	864,000円
50mm	1,296,000円
75mm	市長が別に定める額

*上水道事業加入金 (税込)

《平成28年4月1日から》

量水器口径	加 入 金
13mm	211,000円
20mm	317,000円
25mm	423,000円
30mm	635,000円
40mm	1,058,000円
50mm	1,906,000円
75mm	3,390,000円



▲舟生増圧ポンプ場



▲根古屋増圧ポンプ場

■問い合わせ■

水道課 ☎52-0427

平成27年に叙勲・褒章を受章された方々

(発令順)

◇旭日双光章

蓮田 章二さん
(下伊勢畑 自治功労)



昭和34年に御前山村議会議員に当選以来、昭和47年まで13年の長きにわたり、郷土愛と優れた政策識見を遺憾なく発揮され、常に長期的展望にたち村政発展に尽力なされました。この間、経済常任委員会委員長、御前山村議会議長を歴任され、円滑な議会運営に努められました。

◇瑞宝双光章

照沼 正順さん
(下町 教育功労)



昭和23年に瓜連町立瓜連小学校に奉職され、昭和45年に常北町立青山小学校長に昇格なされました。その後、那珂町立第一中学校長を歴任され、昭和62年に退職されるまで長きにわたり、卓越した指導力と教育に対する情熱をもって、学校教育の進展に貢献なされました。

◇瑞宝単光章

大森 正一さん
(山方 消防功労)



昭和46年に山方町消防団員として任命され、合併後は市消防団山方支団長を経て平成25年に市消防団副団長に昇格なされました。その後、平成26年に退団されるまで、長きにわたり優れた指導力と決断力により団員を統率指導され、多くの住民からも厚い信望を受けられました。

◇旭日単光章

内田 平さん
(上檜沢 自治功労)



平成4年に美和村議会議員に当選以来、合併後も市議会議員として長きにわたり、該博なる知識と政治手腕を遺憾なく発揮され、地方自治発展に大きく寄与なされました。この間、経済常任委員会委員長、美和村議会副議長を歴任され、議長を補佐し円滑な議会運営に尽力なされました。

◇瑞宝双光章

宇留野 正さん
(三美 消防功労)



昭和46年に大宮山方地区救急事務組合に奉職され、市東消防署長を経て、平成21年に市消防長に昇格なされました。その後、平成22年に退職されるまで、長きにわたり消防団員の育成強化を図り、郷土愛護の精神に徹し地方消防の発展に大きく貢献なされました。

◇瑞宝単光章

木口 信彦さん
(盛金 防衛功労)



昭和47年に、二等海士として海上自衛隊横須賀教育隊に入隊、護衛艦「あけぼの」「しきなみ」「たちかぜ」に配属されました。その後、平成20年に退職されるまで、常に旺盛な責任感を持って、誠実かつ積極的に職務を遂行され、国民の安全を守るため尽力なされました。

◇瑞宝双光章

久下沼昭男さん
(塩原 教育功労)



昭和23年に世喜中学校教諭となり、嵯郷小学校教頭を経て、小瀬第一小学校長に昇格なされました。その後も、山方中学校長を歴任され、昭和63年に退職されるまで長きにわたり、確固たる教育理念と生徒への深い愛情をもって、学校教育の進展に貢献なされました。

◇藍綬褒章

岡山 勝彦さん
(小田野 消防功績)



昭和49年に美和村消防団員として入団、分団長、副団長、団長、合併後は市美和消防団長を経て、平成22年に市消防団長に昇格なされました。現在に至るまで40年の長きにわたり、市民の生命財産を守るため日夜献身的に精励され、消防活動の推進に尽力されています。

◇藍綬褒章

岡崎 寛治さん
(下檜沢 統計調査功績)



昭和35年に国勢調査員及び農林業センサス調査員に任命されて以来、連続11回、50年の長きにわたり従事されました。さらに昭和35年から平成22年まで、農林業センサス調査連続11回、県農業基本調査25回など各種調査に従事され、適正かつ正確な統計調査に尽力なされました。

◇旭日双光章

木村 勝昭さん
(小貫 自治功労)



平成11年に山方町議会議員に当選以来、14年の長きにわたり、郷土愛護の精神を堅持し、豊富な経験と卓抜なる識見をもって各部門に多大な貢献をなされました。この間、経済常任委員会委員長、市議会議長などを歴任され、議会の中核として円滑な議会運営に努められました。

◇瑞宝双光章

平野 榮さん
(野口 更生保護功労)



平成2年に保護司に就任以来、25年の長きにわたり、社会奉仕の精神をもって、罪を犯した人や非行のある少年の改善更生を助けるとともに、社会を明るくする運動を通して犯罪予防の啓発をはじめ、地域社会の安全及び市民福祉の増進に大きく貢献されています。

◇旭日単光章

梶山 肇司さん
(八田 土地改良事業功労)



平成元年に玉川沿岸土地改良区理事に選任され、平成19年に理事長に就任、現在に至るまで27年の長きにわたり、土地改良区の運営並びに土地改良事業を積極的に推進されています。この間、県営塩田地区圃場整備事業において、幾多の困難を克服し事業完了に貢献なされました。

◇瑞宝単光章

片野 克紀さん
(山方 消防功勞)



昭和50年に山方町消防団員として入団、合併後は市山方消防団長を経て、平成18年に市消防団副団長に昇格なされました。その後、平成21年に退団されるまで、長きにわたり豊富な経験と知識を生かし地域防災力の向上に精励され、消防行政の発展に尽力なされました。

◇瑞宝双光章

高村 善郎さん
(山方 学校保健功勞)



昭和42年に山方小学校の学校医となり、その後昭和46年からは県立山方商業高等学校の校医も兼任されました。47年余の長きにわたり、その職務に精励され、学校医としての使命感に燃え、児童や生徒の健康保持と増進に多大な成果を上げられました。

1/6

新しい年を迎え賀詞交歓会を開催

新春恒例の新年賀詞交歓会が、西部総合公園体育館で開催されました。

始めに三次市長が、「市民一人ひとりが“もっと元気に”を合言葉に生活できるふるさとづくりに邁進したい」と新年のあいさつを述べ、その後、叙勲・褒章受章者への記念品贈呈、市へ寄付をしていた団体や個人への感謝状の贈呈が行われました。



▲大宮中学校吹奏楽部の演奏

演奏の様子は、常陸大宮市
公式チャンネルで公開中→



YouTube



▲市長の新年のあいさつ

またアトラクションとして、大宮中学校吹奏楽部の演奏が行われ、新年に相応しい幕開けとなりました。

最後は、常陸大宮市「ふるさとの恵みに乾杯」条例の制定を記念して、市特産のゆずサイダーで乾杯しました。

※常陸大宮市「ふるさとの恵みに乾杯」条例とは…

この条例は、平成27年6月30日に制定されました。市内で製造される酒類や市内産の果実等を原料にした飲料で乾杯することで、地産地消の促進を図り、郷土愛を育み、地域産業の活性化を促すことを目的としています。



▲増子大宮警察署長の音頭で乾杯

1/10

災害のない一年を願って

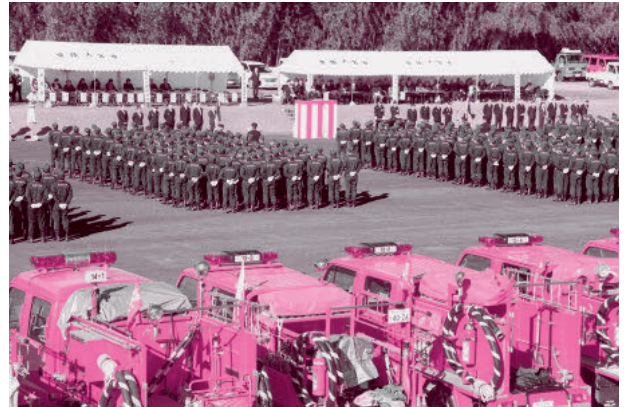
おおみや消防広場（辰ノ口地内）で、市消防出初式が開催され、今年一年の安全を祈願しました。

式では、消防団員の姿勢や服装の点検、統制のとれた分列行進などが披露されました。また、消防活動に尽力された方などに対する表彰が行われました。

式典終了後には、茨城県防災航空隊ヘリコプターによる会場の上空偵察が実施されました。



▲分列行進



▲整然と並ぶ消防団員の皆さん

<動画は常陸大宮市公式チャンネルで公開中>

* 分列行進の様子→



YouTube

* 県防災航空隊ヘリコプター
上空偵察→



11/25

教育委員会で点検・評価を実施

市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会に関する事務の管理執行状況の点検・評価を行っています。

評価委員として、茨城大学教育学部の望月教授、茨城県県南生涯学習センターの新家次長、元茨城県職員（商工労働部長）の武藤氏の3人に委嘱をし、平成26年度の事業のうち10事業について点検・評価を実施しました。



▲評価・点検の様子

評価・点検の結果、「拡充」2事業、「現行どおり」7事業、「縮小」1事業と評価されました。

「拡充」と評価されたうちのひとつは「常陸大宮っ子学力アップ推進事業」で、郷土に対する理解を深めることや、将来の地域創生の担い手となる児童生徒の育成に必要な事業のため継続し、拡充が必要との意見が出されました。また「英語指導員配置事業」では、英語に親しみ外国人と接することで、コミュニケーション能力の向上に大いに意義があるという意見が出されました。その一方、国際教育の原点は郷土教育であるという意見もありました。その他の意見については、市ホームページをご覧ください。

市教育委員会では、これからも毎年教育行政点検評価委員会を開催し、教育委員会活動の透明性を高め、市民に信頼される教育行政を推進していきます。

詳細は常陸大宮市ホームページへ⇒

http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/data/doc/1452581716_doc_77_0.pdf

1/12

生徒交流事業「商品開発プレゼンテーション」



▲プレゼンテーションの様子

緒川総合センターで、小瀬高等学校と明峰中学校の連携型中高一貫教育合同授業「商品開発プレゼンテーション」が開催されました。

小瀬高校国語科では「伝え合う力の育成」に重点をおいて、効果的な話し方や明確な質問、適切な返答能力を養うために、1年生から計画的に取り組んでいます。その学習のまとめとして、小瀬高校3年生が商品開発のプレゼンテーションをし、それについて明峰中学校3年生が質問する形式（アクティブラーニング）で行い、質疑応答などをおしてコミュニケーション能力の向上に取り組みました。

当日は、小瀬高校3年生39人、明峰中3年生69人が参加。小瀬高校の1、2年生約120人も質問側に加わりました。

まず高校生8グループが、ユニークなお菓子を開発したとして、商品名やイメージキャラクターなどを紹介し、自慢の商品を売り込みました。発表後の質疑応答では、当初は少なかった質問も慣れるに従い活発化しました。商品やパッケージの大きさ、キャラクターの意味などについて指摘を受け、高校生が懸命に答えていました。明峰中3年生の河野龍星さんは「これまでプレゼンを聞いて、イメージや感想を考える授業はなかった。いい体験ができました」と感想を述べました。



▲優勝グループがコメントを発表

1/12

ランドセルの寄贈がありました

市役所福祉課あてに、赤いランドセルの寄贈がありました。これはイオン常陸大宮店から配送され、配送票には住所や連絡先がなく、名前だけが書かれていました。現在、詳細については分かっていません。

市の担当者は、「ランドセルが送られてきたのは初めてで、とても驚いている。このランドセルは、新入学児童がいる母子・父子家庭を対象に、希望者へ配布する予定です」と話していました。



寄贈されたランドセル▶

1/22

文化財を火災から守ろう

毎年1月26日は文化財防火デーです。

昭和24年のこの日、奈良県の法隆寺金堂の貴重な壁画が焼損する火災が起きました。これを機に翌年文化財保護法が制定され、昭和30年から、同日を文化財防火デーと定められました。この日の前後に、全国的に文化財防火運動が展開されています。

本市でも教育委員会と消防本部が合同で、市内43カ所の文化財所有・管理者を訪問し、消防設備の点検や防災指導を実施しました。

国民共通の貴重な財産である文化財を火災等から守るため、今後も市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。



▲神社で消火器の点検

11/13

石破大臣に市をPR

地方創生人材派遣制度派遣者報告会が開催され、創生特別顧問の西野由希子教授が、本市の取組状況などを報告しました。また特産品等を紹介する時間では、早川農園の協力で、いちご「ひたち姫」と花豆「常陸大黒」の煮豆を提供しました。石破茂地方創生担当大臣からも、大変おいしいとの好評を得、地方創生と合わせて、本市の農産品のPRを行うことができました。



◀「ひたち姫」と「常陸大黒」

11/30

パラオに野球用具を寄贈

市体育協会が、パラオ共和国の学校教育で軟式野球とソフトボールの用具を使用してもらおうと、グラブやバット、ベースなど試合に必要な一式を寄贈しました。同協会の安野理事長は、「将来的には、本市の子どもたちとの交流試合を実現させたい」と話していました。



＜寄贈用具一式＞

グローブ15個、キャッチャーミット1個、バット5本、ヘルメット5個、キャッチャー用・球審用マスク2個、軟式ボール・ソフトボール各2ダース、ベース一式、用具入れ

1/20

県統計功労者表彰

茨城県庁で、平成27年度茨城県統計功労者表彰式が開催されました。式では、統計功労者の表彰、感謝状の贈呈のほか、叙勲・褒章受章者の紹介、統計グラフコンクール入賞者の表彰が行われました。

●茨城県知事表彰

助川 壽幸さん（上大賀）

●茨城県統計協会総裁表彰

大澤 孝夫さん（大岩）

小森 久義さん（上小瀬）

薄井 登さん（鷺子）

河西 和文さん（高部）

●農林水産大臣表彰（2015年農林業センサス）

寺門 光文さん（上村田）

矢板 俊道さん（高部）

●経済産業省大臣官房審議官調査統計グループ長感謝状

勝山 安次さん（泉）



1/26

防災力を高めるために

緒川総合センターで、「地域との連携による学校防災実践事例発表会」（主催：県教育委員会）が開催されました。この事例発表会は、実情に合った地域との連携により、学校の防災教育を普及啓発していくことを目的としています。

事例については、今年度モデル校として指定された美和小学校の取り組みが、同校の古田土豊教諭から発表されました。発表では、市防災訓練の参加や栃木県防災館での体験学習などについて紹介されました。

続いて、防災システム研究所所長の山村武彦氏の講演会が行われました。山村氏からは、「災害が起きた後の訓練ばかりでなく、災害時にその場の状況を一人ひとりが判断して対応する訓練が必要である」という話などがありました。



▲スライドを使った事例発表

道の駅常陸大宮が重点「道の駅」に選ばれました

【重点「道の駅」とは…】

国土交通省が、地方創生の核となる特に優れた取り組みを応援するもので、平成26年度から実施されています。

今年度は、地方創生に資する地産地消の促進及び小さな拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、またはリニューアル等の企画提案が募集されました。そして全国で38カ所の道の駅が選定され、「道の駅常陸大宮」もその中の一つとして選ばれました。

産業振興

常陸大宮ブランドの創出

観光総合窓口

地域のコンシェルジュ

交流・連携

地域資源を活用した
体験・交流

防 災

災害時の支援拠点

交通拠点としての機能

高齢者の生活福祉サービス向上

【取り組み】

- ・直売施設に洋野菜等の専門コーナーを設置
- ・ディスプレイを使ったレシピの紹介
- ・洋野菜を活かしたレストランメニューなどの開発
- ・農業と商業の連携による商品開発
- ・コンシェルジュデスクやWi-Fi設置による情報発信機能の向上
- ・災害用井戸、非常用発電機等の整備による防災機能の強化
- ・市民バスのバス停を設置

体験農園を活用した交流促進



洋野菜の特産品化



災害時の支援拠点
(ドクターヘリポート)



洋野菜を活用したメニュー開発



【市長あいさつ】

1月27日、国土交通省より、平成27年度の重点「道の駅」の選定結果が公表され、本市の『道の駅常陸大宮（愛称：かわプラザ）』が選定されました。

全国1,079カ所ある「道の駅」の中、今回、全国で38カ所、関東で6カ所の重点「道の駅」を選定された中に、『道の駅常陸大宮』を選定いただきましたことは、本市にとって大変喜ばしいことであり、国土交通省をはじめ関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。今回の選定により、今後、国土交通省から重点的に支援していただけることは、市としまでも大変ありがたいことであり、地方創生の核となる「道の駅」の実現に取り組んでまいります。

『道の駅常陸大宮』のオープンは本年3月25日を予定しており、本道の駅がシティセールスの拠点として、多様な企画・取組を実践していくことにより、本市の農業をはじめとする産業の振興、あるいは観光や地域間交流の促進など、地域の活性化を図ってまいります。

そして、オープン後も市民の皆様はもとより、幅広いお客様に支持され、愛される道の駅を目指してまいります。

今後とも関係者の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

「道の駅常陸大宮」は3月25日(金)オープンです。

3月26日(土)、27日(日)は記念イベントを予定しています。

第5回 常陸大宮クロスカントリー大会を開催

1月17日、「第5回常陸大宮クロスカントリー大会兼みんなで楽しくグリーンウォーキング」が、水戸グリーンカントリークラブで開催され、県内外から約1,800人が参加しました。

スタート前は、夜半から朝にかけての雪で一面銀世界でしたが、係員の雪かきでコースは整備され、安全に走ることができました。また元五輪選手や箱根駅伝の出場選手などが参加して、大会を盛り上げました。

<開会式>



開会式が始まる頃はまだコースに雪が…。式では、子どもたちから招待選手に花束贈呈の後、選手宣誓。

<ウォーキング&1000m>



青空と雪のコントラストを楽しみながらウォーキング。気持ちよく汗をかきました。

<2000m & 4000m>



自然の地形を生かしたアップダウンの激しいコース。自分のペースで一生懸命走りました。

<6000m & その他>



思い思いのコスチュームで走る選手たち。けんちん汁の無料サービスは大人気でした。

《部門別の結果》

種 目	部 門	1 位	2 位	3 位
1000m	フリーラン	生田目祐太郎(常陸大宮市)	阿久津奈那(栃木県)	大川 櫻子(栃木県)
	小学男子(3年以下)	瀬戸 正篤(福島県)	近藤 嵩悟(福島県)	木村 祐介(常陸大宮市)
	小学女子(3年以下)	大内 心愛(栃木県)	圓谷 仁渚(福島県)	高橋 愛里(守谷市)
2000m	小学男子(4年以上)	篠原 悠(千葉県)	圓谷 史生(福島県)	小林 剛士(水戸市)
	小学女子(4年以上)	圓谷 美侑(福島県)	木村 奈央(常陸大宮市)	佐久間愛永(茨城町)
	中学男子	菊池 冬馬(常陸大宮市)	大串 和也(常陸大宮市)	小野瀬 格(常陸大宮市)
	中学女子	高橋 実里(守谷市)	二川 彩香(ひたちなか市)	喜古 響(日立市)
4000m	中学男子	西楨 優祐(福島県)	小高 雄人(埼玉県)	伊藤 明輝(栃木県)
	中学女子	諸川 愛(水戸市)	今野 涼佳(埼玉県)	疋田真菜佳(常陸大宮市)
	高校男子	戸越 亮汰(常陸太田市)	黒澤 政喜(ひたちなか市)	桐原 航生(常陸太田市)
	高校女子	須藤ひかる(常陸太田市)	後藤日菜子(常陸太田市)	田代 碧(日立市)
	一般男子(18歳以上)	若菜 優雅(福島県)	加藤 秀法(福島県)	塩澤 裕也(福島県)
	一般女子(18歳以上)	渡辺ありさ(福島県)	金野 理和(つくば市)	高野 麻衣(那珂市)
	一般男子(40歳以上)	瀬戸 隆行(福島県)	大辻 竹仁(ひたちなか市)	東 浩司(つくば市)
	一般女子(40歳以上)	瀬戸 妙子(福島県)	本城 幸子(高萩市)	松岡 恵子(つくば市)
6000m	高校男子	田崎 聖良(筑西市)	野上 蓮(常陸大宮市)	木村 佑(鹿嶋市)
	一般男子(18歳以上)	江連 翼(神奈川県)	山本 航也(神奈川県)	志賀 康太(神奈川県)
	一般女子(18歳以上)	桑原 絵理(福島県)	櫻井 良子(栃木県)	
	一般男子(40歳以上)	高橋 玄洋(常陸太田市)	吉岡 修(土浦市)	木村 孝男(ひたちなか市)
	一般女子(40歳以上)	今野 祥子(常陸太田市)	平沢 典子(小美玉市)	榎本 美子(つくば市)

スポーツ大会結果



第12回常陸大宮市近郊中学校バスケットボール大会

開 催 日：12月25、26日
会 場：西部総合公園体育館

主 催：一般財団法人常陸大宮市体育協会
参加チーム：男女各9チーム

【男子の部】

優 勝 那珂市立第一中学校
準優勝 那珂市立第四中学校
第3位 常陸大宮市立第二中学校
敢闘賞 常陸太田市立峰山中学校

【女子の部】

優 勝 那珂市立瓜連中学校
準優勝 常陸太田市立瑞竜中学校
第3位 常陸大宮市立大宮中学校
敢闘賞 那珂市立第一中学校

第17回山方宿若あゆ駅伝大会を開催 ～高学年の山小ガールズがメンバー全員区間賞で優勝!!～

開催日：12月20日 主催：山方体育協会（高村卓雄会長）
コース：山方宿通り（山方総合支所前～JR山方宿駅の折り返し）
参加チーム：低学年の部7チーム、高学年の部11チーム

この大会は年末の恒例行事になっていて、今回は12月20日に開催されました。普段は人通りが少ない山方宿通りも、この日ばかりは大変賑わい、沿道には大勢の応援の方々が駆けつけました。

また、食生活改善推進員連絡協議会山方支部の皆さんによる豚汁のサービスもあり、大会をあたたく盛り上げてくれました。



▲南風ドリーム6による力強い選手宣誓

《低学年の部：小学1年～3年》

優勝 ラッキー7EX (桜井蓮、鈴木康介、後藤航大、後藤陽心、棚谷心翔、水谷心哉)
準優勝 ランニングマン (小野瀬光洋、鈴木はるこ、川野邊せら、見越海斗、大森早記、高村稜花)
第3位 スピードサンダー (小森淳平、大森悠貴、三次徠夢、木村魁秀、坪拓未、前田一牙)

区間賞	1区	2区	3区	4区	5区	6区
女子	木村 優月	鈴木はるこ	川野邊せら		坪 知世	高村 稜花
男子	木村 祐介	鈴木 康介	後藤 航大	後藤 陽心	棚谷 心翔	前田 一牙

《高学年の部：小学4年～6年》

優勝 山小ガールズ (岡崎凜奈、小宮一姫、菊池凜、菊池心優、小森あすか)
準優勝 スピードタイガース (増子滉太、木村奈央、猿田莉子、バルザーブライアン、木村知世)
第3位 南小ファイブ (本田清良、坂井亮太、高林大和、鹿島結心、石井寛大)

区間賞	1区	2区	3区	4区	5区
女子	岡崎 凜奈	小宮 一姫	菊池 凜	菊池 心優	小森あすか
男子	増子 滉太	坂井 亮太	高林 大和	バルザーブライアン	江原健太郎



▲低学年優勝の「ラッキー7EX」



▲高学年優勝の「山小ガールズ」



今月のテーマは「この人がスゴイ」です。投稿者の方が身近に感じたスゴイ人、頑張っている本市出身者を紹介します。

【自見 彩（じげん さやか）さん】

今年の成人式のアトラクションで弾き語りを披露してくれた、大宮中学校出身の自見彩さん。ご本人も成人者で、晴れの成人式では、自分で書いた曲を会場の同級生に披露しました。



自見さんは、高校卒業後に音楽活動を開始し、上京してシンガーソングライターの道に進みました。これまで路上演奏やライブハウスへの出演、各地のイベントに参加するなど活躍を続けています。これからの目標は、歌手の道だけに留まらず、女優やタレントとしても頑張っていきたいそうです。自見さんの今後の更なる活躍を期待しています。

(Nさん)

【田崎 育子 さん】

市スポーツ推進委員だった田崎育子さん（元山方小学校教員）が、今年1月、病気で急逝しました。

田崎委員は、全国高等学校空手道選手権大会で優勝した経歴をもちながら、エリート意識を持たず、老若男女誰とでも気さくに触れ合いました。また、一人でも多くの市民にスポーツを通じて健康で幸福な暮らしを送ってもらおうという生涯スポーツ行政の理念を具現化すべく、企画会議や行事等に積極的に参加し、職務を果たされました。スポーツ推進委員として27年間、お疲れ様でした。

(市生涯学習課 大高さん)



4月号から情報を大募集!!

月ごとのテーマに合わせてお気に入りの場所や食に関するものなど、市内の魅力についての情報を募集します。その情報をもとに取材し、広報常陸大宮の紙面で紹介していきます。

4月号のテーマは、「常陸大宮のお散歩マップ」です。【問い合わせ】政策審議室 秘書広聴課

☎52 - 1111 (内線312)

〒319 - 2292 常陸大宮市中富町3135-6

皆さんおすすめのお散歩コースを教えてください。

3月18日（金）までに、郵便またはファックス、Eメールでお送りください。
*住所、氏名、連絡先は記載しなくても構いません。提供していただいた情報がすべて掲載されるわけではありません。ご了承ください。

Eメールアドレス

→ hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

QRコードからの投稿はこちら→



VOL.20

職員のつぶやき ～職員リレートーク～

会計課の高谷莉奈です。

東風が吹く季節、寒い中にも春が近づいているのを肌で感じます。趣味で描いているイラストにも徐々に暖色が増してきて、無意識のうちに春の訪れを待ち遠しく思っているんだと感じます。イラストの方も、完成するのが楽しみになっています。

さて私の所属する会計課では、主に収入印紙・収入証紙の販売、資金の管理、歳出審査をしています。少しずつ業務の幅も広がり、慣れてきた一方で、まだまだ未熟な部分も多くあるため、これからも緊張感を持って日々精進していきたいと思っています。



会計課 高谷莉奈

☆電力の小売全面自由化がスタート☆ ～正確な情報を収集し、よく理解してから契約を！ 便乗商法にも注意～

今年の4月1日から、電力の小売全面自由化が始まります。

これまで電力の契約は、地域ごとの事業者との契約でしたが、自由化により様々な業種や業態の事業者の中から、自分で契約先を選択することが可能になります。電力についてよく理解し契約するきっかけに、また便乗したトラブルに遭わないためにアドバイスをします。

1. 自分で情報を収集

「料金が必ず安くなる」といった勧誘トークに気をつけ、自分で小売自由化に関する情報を収集しましょう。小売電気事業者は、登録制になっています。登録されている事業者か、併せて自分の居住地がその事業者の供給地域になっているかも確認しましょう。

- ・電力小売自由化の制度などについての問い合わせ 【☎ 0570-028-555】
- ・小売供給契約を結ぶ際のトラブル等のご相談 【☎ 03-3501-5725】

2. 契約内容を確認

「料金が安くなる」と勧誘された時には、どのような条件で安くなるか、電力以外の商品やサービス契約とのセット料金や割引になっていないか、契約期間が長期なものになっていないか、解約時に違約金が発生しないかなど、よく確認しましょう。

3. 直接関係のない契約はよく考えてから

電力の小売自由化に便乗した太陽光システムの契約をはじめ、プロパンガス、蓄電池等の勧誘など、電力の小売自由化と直接関係ない契約は、その必要性についてよく考えましょう。

- 不安に思ったりトラブルにあったりした場合は、消費生活センター等に相談しましょう。



【問い合わせ】

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
 - 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通) (本庁商工観光課内)
- ※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。

いっしょにまちづくり

～スポーツとまちづくりについて～

スポーツの楽しみ方とは、観る楽しみ、競技を行う楽しみ、余暇として、健康維持としてなど、様々な楽しみ方があると思います。

スポーツ推進委員の立場では、それらに加えて提供する楽しみというのがあります。イベントや教室等を企画運営し、そこに地域、世代、性別を越えた人々が集まり、コミュニティが生まれます。その人たちがスポーツをとおして、時には真剣勝負でふれあい、会話が弾み、笑顔が生まれます。このような人と人との出会い、ふれあいがまちづくりの始まりかと思っています。

提供する最大の楽しみは、参加者の皆さんの素敵な笑顔です。これからもスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブひたまる25」の活動等で、たくさんの笑顔と出会えるよう、スポーツでのまちづくりに少しでも貢献できればと思います。



市スポーツ推進委員
海老根 博さん



海外通信 from マラウイ No.3

昨年1月に、国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイに派遣された小河原香織さん（市内野上出身）から、年末に3通目のお便りが届きました。

TDC(教師研修センター)の人々

小河原 香織



今日はもう1人の同僚について話しましょう。

先に書いたPEA(初等教育アドバイザー)が好む色が赤ならば、アシスタントの彼の好きな色は青です。この地に初めて来た私や、新しいPEAを冷静にサポートしてくれる心強い味方。ちなみに、前任のPEAの好きな色が赤だということは、彼から聞いた話です。

さて赤と青をイメージする時、私は「北風と太陽」の話を思い出します。でも青が好きな彼は、決してあの物語の「北風」のイメージではありません。クールでありながら、柔らかい。

例えば、彼は私の担当教科である「表現芸術」科目の先輩でもあります。彼が自分の作品について説明してくれる時、子どものように話が止まらず、合間に温かな声で笑います。そうかと思うと、決して好きで教員になったわけではないと言う時もあります。他に夢があったが、仕事がないここマラウイでは選択の余地はなかった、とこの国の置かれている状況を交えながら、淡々と説明してくれます。

また、近隣の学校を巡回するとき、彼は私が理解できるように英語で話し始め、次に同じことをシェワ語（公用語）を使って話す心遣いをいつも忘れないのです。

彼の口癖は、「大歓迎！」。

自分の授業の他に、TDCの仕事や私たちのサポートと毎日忙しいはずですが、彼のもとにきたどんな提案も温かく受け入れてくれる、常に準備ができている人です。日本と比べると色々なものが不足しているこの国で、何かを始めるには、とても時間と労力がかかることを痛感してきた今日この頃、この彼のセリフは元気を与えてくれます。逆に、そんなマラウイでいつも準備ができている状態を維持している彼には、本当に頭が下がります。

私は最長25キロ離れた学校を含め、17校を管轄するシャープパレTDCの一員として、彼の自転車の後ろを遅れないように自転車で追いかけてながら、配属先であるTDCの人々のために何ができるかと考えつつ、今日もペダルを一生懸命こぎます。

この4カ月は、1日にいったい何度汗をかけば、自分の体温を少しでも下げられるのか分からない暑さを経験することができました。そして、やっと雨季が始まります。

皆さんは、1年を振り返った時、どんな人が心に思い浮かびますか。

<マラウイ豆知識>

- ・教育 公立では初等教育8年、中等教育が4年、その後大学が4～6年間。節目にある全国共通の国家試験に合格しないと、上位学校へ進むことができない。
- ・識字率 74.8%で、男性より女性のほうが低い（2013年現在）。
- ・おすすめの本 「風をつかまえた少年」ウィリアム・カムクワンバ著、文芸春秋 貧しいマラウイの少年が、風力発電に挑戦した実話を元にした本。



佐竹義昭奉加帳

昨年10月21日、常陸大宮市と秋田県大館市は、友好都市協定を締結しました。直線距離で400km 離れている両市が友好都市となったきっかけは、今からちょうど20年前の平成8年、当時大館市立城南小学校3年生だった吉田菜見さんが、当時の大宮町長に送った一通の手紙でした。

今回は、大館市と本市をつなぐ史料として重要な、「佐竹義昭奉加帳」についてお話ししましょう。

【甲神社と「佐竹義昭奉加帳」】

市内下町に鎮座する甲神社は、かつて部垂大宮大明神みょうじんかぶとみやと呼ばれ、周辺12ヶ村の総鎮守として崇敬されてきた古社です。甲神社には隣接して部垂城が築かれ、佐竹氏の領国支配の上で重要な役割を果たしていました。しかし部垂の乱と呼ばれる一族の内紛のため、天文9年(1540)、当時の佐竹16代当主義篤によって、城主であり実弟の部垂義元一族が滅ぼされ、落城しました。

義篤の子で17代当主となった義昭は、支配地の安定を図るため、積極的に領内各地の寺社を優遇し、弘治3年(1557)、部垂一族の鎮魂を願ってか、甲神社の大修理も実施しています。その折、修理費用の寄附を割り当てられた人々の名簿が「佐竹義昭奉加帳」(県指定文化財)であり、寄附者の多くは、「部垂衆」と呼ばれた、部垂氏の遺臣達と考えられています。



▲「佐竹義昭奉加帳」部分(県指定文化財 甲神社所蔵)

【吉田菜見さんからの手紙とその返事】

「私が住んでいる部垂町の名前は、大宮町とどんな関係があるのですか」

菜見さんから届いた手紙には、そう書かれていました。他の子ども達から「へったれまち」と悪口を言われる町名を不思議に思い、由来を知りたいと、図書館や郷土博物館で調べたところ、茨城県の大宮町と関係

があると教えてもらったのだそうです。

大宮町の市街地は、古くから「部垂村」という名前だったのに、江戸時代の終わり頃「大宮村」に変わったこと。460年ほど前の戦国時代は、このあたりを佐竹という殿様が治めていて、部垂城の殿様だった弟と戦争をして滅ぼしてしまったこと。殿様をなくした部垂の家来たちが、近くにある小場城の殿様の家来分になって、「部垂衆」と呼ばれたこと。多くの部垂衆の名前が書かれた「奉加帳」が甲神社に残っていること。佐竹の殿様が徳川家康の命令で、茨城を離れて秋田を治めることになったとき、小場城の殿様は一緒に秋田へ行き、大館にあったお城の殿様になったこと。小場の殿様の家来になった部垂衆も大館に移り住んで、住み着いた場所が「部垂町」と呼ばれることになったこと。これらを返事としてまとめ、菜見さんに送りました。

【奉加帳にある家臣の苗字】

佐竹氏が秋田へ移封された折、長男家族のみが秋田に従い、次・三男は農民として住みなれた常陸国に残った家臣も多かったといえます。

「佐竹義昭奉加帳」記載の内、判読できる苗字は、小田野、和田、根本、野上、長田、黒澤、石橋、江間、人見、田所、大山、大和田、徳川、片岡、大縄、後藤、長山、徳宿、関、安土、川上、荻津、高久、石川、小阿久津、立原、本橋、柏、瀬尾、高和田、小林、大串、内田、富岡、小槻、皆川、古徳、寺門、富山、阿久津、宮内、金田、小泉、山田、川又、飯村、山崎、篠田、綿引、梶、桑原、大賀、須藤、塙、倉田、宇留野、飛田、井坂、林、赤須、田村、小澤、掛札、大貫、清水、菊地、長井、大鷹、嶋根、沼田、藤田、木村、豊田、泉、河野、寺崎、安部、おそ能、栗田、岡崎、小室、伊坂、柏木、右澤、の84姓です。

ご自分に関係する苗字を見出された方も多いのではないのでしょうか？

【電話帳で調べた大館にある苗字】

菜見さんは4年生になっても調査を続け、大宮町と大館にある共通する苗字を電話帳で調べるなどしています。今回、菜見さんから送ってもらった大館の電話帳で、奉加帳にある苗字を調べたところ、なんと、半分以上の43の姓(赤字で示したもの)を見つけることができました。

もちろん、佐竹氏の秋田移封と全く関係ない家も多いに違いありません。しかし大館には、部垂衆のほか、小場の家来はもちろんのこと、秋田移封の3年前に取り潰しとなった長倉氏の家臣達も移り住み、長倉町として地名が残っています。奉加帳にない苗字でも、当市にゆかりある家が、まだまだ大館にはあるはず。本当の意味での友好都市として、400年の時空を超えた市民レベルの交流が期待されます。

健康寿命とは

健康寿命 (healthy life expectancy) の概念が生まれてから50年以上経過していますが、世界保健機関 (WHO) でも、平均寿命ではなく健康寿命を健康指標として提唱しています。平均寿命は、その年に生まれた人があと何年生きられるかという指標でした。

厚生労働省が進める21世紀における国民健康づくり運動<健康日本21(第二次)>では、健康寿命を健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間と定義しています。この<健康日本21(第二次)>では、健康寿命を延ばすことと都道府県健康格差の縮小が目標の一つになっています。



2013年の世界188カ国の健康寿命は、日本が男性71.1歳、女性が75.6歳で1位でした。この年(2013年)の日本の平均寿命は、男性が80歳で、オーストラリア、カナダなどとともに6位、女性は87歳で1位でした。平均寿命と健康寿命の差は、日常生活に制限のある期間を意味しますが、男性8.9年、女性が11.4年です。

2010年の平均寿命と健康寿命については、都道府県別の結果も公表されています。茨城県の平均寿命は、男性が79.09歳で36位、女性が85.83歳で44位でした(これでも魅力度ランキング47位よりは上位です)。健康寿命では、男性が71.32歳で4位、女性が74.62歳で7位と上位にランクされています。平均寿命と健康寿命の差は、誰かの手を借りて生活する期間ともいえますが、男性は秋田について2番目に短く、女性は群馬、栃木、静岡について4番目でした。

茨城県は健康寿命が上位だからと安心してはいられません。お迎えが来る日まで元気に過ごせるように、特に長期間の介護が必要になる可能性が高くなる、脳卒中や転倒・骨折を防いで、要介護にならないよう健康寿命を延ばしましょう。

健

康

通

信

常陸大宮済生会病院

副院長

小島 正幸 先生

ひとりで悩んでいませんか？あなたには相談できる人がいます ～3月は「自殺防止月間」～

●最近、ちゃんと眠れていますか？

2週間以上不眠が続くなら、それは「うつ」かもしれません。

【こころとからだ セルフチェック】

- ☐ 1 毎日の生活に充実感がない
- ☐ 2 これまで楽しんでやれていたことが、楽しめなくなっている
- ☐ 3 以前は楽にできていたことが、今はおっくうに感じられる
- ☐ 4 自分が役に立つ人間だと思えない
- ☐ 5 わけもなく疲れたような感じがする

* 5つの項目のうち2項目以上が2週間以上続いているために、つらい気持ちになっている場合は、かかりつけ医または相談窓口にご相談ください。

●私たちにできること あなたも誰かのゲートキーパー

身近な人の変化に気づき、声をかけ、話を聞き、必要があれば相談機関につなぎ、温かく寄り添いながら見守ることができる人をゲートキーパーと呼びます。

話をよく聞き、一緒に考えてくれる人の存在は、悩んでいる人の孤立を防ぎ、安心を与えます。悩んでいる人を見かけたら、声をかけてみましょう。



●相談窓口

相 談 内 容	相 談 窓 口		電 話 番 号（ 相 談 時 間 等 ）
心とからだの健康	精神保健福祉センター		029-243-2870（予約制）
	常陸大宮保健所		55-8424（平日 8時30分～17時15分）
	健康推進課		54-7121（平日 8時30分～17時15分）
	山方総合支所市民福祉課		57-2121（ 〃 ）
	美和総合支所市民福祉課		58-2111（ 〃 ）
	緒川総合支所市民福祉課		56-2111（ 〃 ）
	御前山総合支所市民福祉課		55-2111（ 〃 ）
死にたい気持ち 心の悩み	茨城いのちの電話	つくば	029-855-1000（毎日24時間）
		水戸	029-350-1000（毎日13時～20時）
		フリーダイヤル	0120-738-556（毎月10日、8時～翌日8時）
	いばらきこころのホットライン		029-244-0556（平日） 0120-236-556（休日）

■問い合わせ■ 健康推進課〔総合保健福祉センター（かがやき）内〕 ☎54-7121



平成27年常陸大宮市の火災・救急・救助の概要

市内で発生した火災・救急・救助の概要をお知らせします。

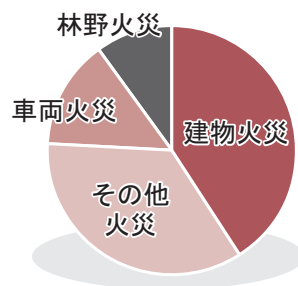
(構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。)

《火災発生状況》

火災件数は29件で、昨年より2件減少しました。種別ごとでは、建物火災が12件、その他火災が10件と多く、車両火災が4件、林野火災が3件でした。

火災件数構成比

建物火災……………41.4%
その他火災……………34.5%
車両火災……………13.8%
林野火災……………10.3%



▲はマイナス

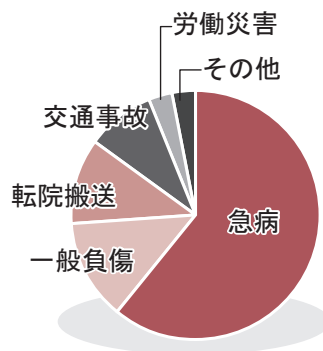
区 分		H27年	前年比
火 災 件 数	建 物 火 災	12件	▲5件
	車 両 火 災	4件	1件
	林 野 火 災	3件	1件
	そ の 他 火 災	10件	1件
	合 計	29件	▲2件
損 害 額		15,384千円	▲43,070千円
建物焼損面積		632㎡	▲499㎡
死 者		1人	1人
負 傷 者		5人	2人
り 世 帯 災 人 員	14世帯	▲1世帯	
	37人	0人	

《救急出動状況》

救急出動件数は1,905件で、昨年に比べ1件減少しました。1日当たりの件数はおよそ5.22件です。搬送人員は1,848人で17人増加しました。

救急出動件数構成比

急 病……………61.0%
一般負傷……………13.1%
転院搬送……………11.2%
交通事故……………9.1%
労働災害……………2.7%
そ の 他(自損、運動、加害、
火災、水難などを含む)
……………2.8%



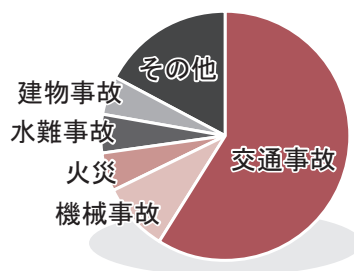
	H27年	前年比
出 場 件 数	1,905件	▲1件
搬 送 人 員	1,848人	17人
火 災	5件	▲1件
自 然 災 害	0件	▲1件
水 難 事 故	2件	▲4件
交 通 事 故	174件	6件
労 働 災 害	52件	2件
運 動 競 技	12件	3件
一 般 負 傷	250件	21件
加 害	9件	2件
自 損 行 為	24件	2件
急 病	1,163件	▲10件
転 院 搬 送	213件	▲21件
医 師 搬 送	0件	0件
そ の 他	1件	0件

《救助出動状況》

救助出動件数は22件で、昨年より6件増加しました。救助人員は16人でした。

救助出動件数構成比

交通事故……………59.1%
機械事故……………9.1%
火 災……………4.5%
水難事故……………4.5%
建物事故……………4.5%
そ の 他……………18.2%



	H27年	前年比
出 場 件 数	22件	6件
火 災	1件	1件
交 通 事 故	13件	6件
水 難 事 故	1件	▲1件
自 然 災 害	0件	0件
機 械 事 故	2件	▲3件
建 物 事 故	1件	1件
ガ ス 酸 欠 事 故	0件	0件
爆 発 事 故	0件	0件
そ の 他 事 故	4件	2件

ひたまるがゆく

クロスカンントリーに挑戦!!

1月17日に開催された「第5回常陸大宮クロスカンントリー大会」にひたまるも参加しました。

普段はあまり長い距離を走らないので、しっかりと準備運動をしてレースに挑戦。序盤は快調にコースを走るひたまる…このまま完走なるか!?と思いきや、前日の雪の影響からか途中コースに足をとられ、足を挫（くじ）いてしまいました（泣）。

今回、とても悔しい思いをしたひたまる。みんなの応援をしながらも、次回は練習をたくさんして準備運動も忘れずに、万全の状態で参加しようというリベンジを誓うのでした…。



▲快調に走るひたまる



くっくッ!!



スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.18

昨年暮れのピラティス教室を皮切りに、市民の皆さんに心から楽しんでもらいたいと、各種エクササイズ系のスポーツ教室を企画運営してきました。各教室とも老若男女に好評でしたので、今後も引き続き開催する予定です。種目によっては、数カ月単位で実施することも検討しています。

また、3月26日の栃木県太平山ハイキングは参加者募集中です。ハイキングの後は、蔵の街でランチと散策の予定です。詳細は、広報常陸大宮お知らせ版2月10日号（P.15）をご覧ください。

■問い合わせ■ マネージャー・小室 ☎080-5075-3921
生涯学習課 スポーツ推進グループ ☎52-1111（内線342・343）



▲コアトレーニング体験教室の様子

アブラチャン



（クスノキ科シロモジ属）



御前山ビオトープ周辺の植物等

山麓の沢沿いなどの湿ったところに多い落葉低木で、高さは5mほどになります。花は雌雄別株です。3～4月頃、葉が開く前に淡黄色の花が3～5個ずつ集まって咲きます。

果実は直径1.5cmほどの球形で、9～10月頃に黄褐色に熟します。若い果実は、割ると柑橘系のさわやかな香りがします。種子や樹皮は油を多く含み、昔これを燃やして明かりをともしたことが名前の由来だそうです。葉は秋に黄葉しよく目立ちます。

（写真・データ提供 御前山ダム環境センター）

常陸大宮市の人口

（2月1日現在・推計常住者）

総人口 42,240人

（男 20,813人 女 21,427人）

世帯数 16,353世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 2月 第137号

発行日 平成28年2月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



再生紙と植物油インクを使用しています。